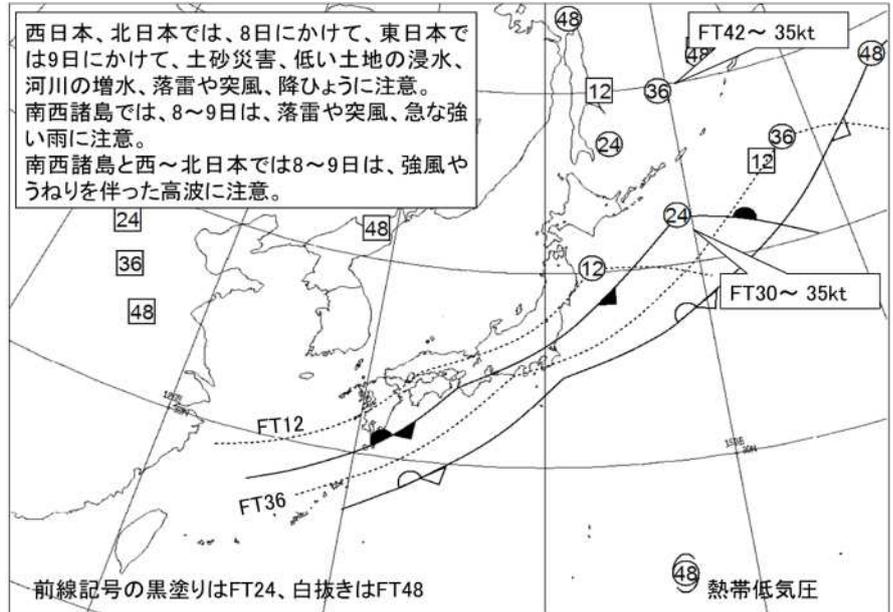


### 1. 実況上の着目点

- ① 中国東北区には500hPa -15°C以下の寒気を伴った5640～5700mのトラフがあって、南東進。
- ② 前線が東シナ海から本州付近にのびている。前線に向かって日本のはるか東に中心を持つ高気圧の縁辺から下層暖湿気が流入し、前線の近傍では、大気の状態が不安定となっている。西日本では、局所的に1時間に30～40mmの雨量を解析、雷を検知。
- ③ ②の前線近傍では、気圧の傾きが大きくなっている所があり、やや強い風が吹いている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒気を伴ったトラフは、深まりながら8日にかけて日本海中部へ南東進、9日夜には北日本を通過する。1項②の前線は、7日朝にかけて本州付近を北上し、前線上の東北地方に低気圧が発生する。その後、前線は8日朝に関東地方沿岸～四国の南～南西諸島まで南下する。また、7日夜には宗谷海峡付近に低気圧が発生し、8日にかけてオホーツク海に進む。低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となるため、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。西日本、北日本では、8日にかけて、東日本では9日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。北陸地方では、地盤の緩んでいる所があるため、少ない雨量でも土砂災害の危険度が高まるおそれがあり、雨雲が予想より発達した場合は、警報級の大雨となる可能性がある。
- ② 南西諸島では、2項①の前線や1項②の高気圧の縁辺から流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる。南西諸島では、8～9日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ③ 8日夜に中国東北区付近に発生する高気圧が9日にかけて、サハリン付近へ北東進する。また、モンゴル付近にある高気圧が9日にかけて華北付近へ南東進。2項①の低気圧や前線と、高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、前線の近傍や北側では、強い風が吹いて、うねりを伴い波が高く、9日はしけとなる所がある。南西諸島と西～北日本では8～9日は、強風やうねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ①雨量(06時からの24時間)：北陸地方・東海地方・近畿地方・中国地方100mm。②波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・沖縄地方3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。